

提携活動

■ Healx社と研究提携契約を締結

2021年8月に、Healx社と、同社独自の人工知能技術を活用したアンメットメディカルニーズを満たす革新的な治療薬の創製を目的とした研究提携契約を締結しました。Healx社は、2014年に設立されたAI技術を通じて世界の患者さんへ新たな治療薬を提供するために次世代創薬手法を切り拓くバイオ医薬品企業です。Healx社は、独自の人工知能技術を用いて、当社の化合物資産に対して複数の候補疾患とその作用機序を予測し、当社は、特定された候補疾患に対して当社の化合物資産での検証試験を実施します。当社の新薬候補化合物のプロファイリングデータとHealx社の人工知能技術を組み合わせることで、高い精度をもって臨床適応症の探索効率を高め、新薬候補化合物の特定効率が高まることを期待しています。

■ ミラバイオロジクス社とバイオ医薬品の創薬提携契約を締結

2021年8月に、ミラバイオロジクス株式会社(ミラバイオロジクス社)と、ミラバイオロジクス社独自の環状ペプチド探索法とタンパク質工学を融合させた新技術LassoGraft Technology[®]を活用した次世代バイオ医薬品の創製を目的とした創薬提携契約を締結しました。ミラバイオロジクス社は、2017年に創立されたバイオ医薬品の創薬研究を行っているバイオベンチャー企業で、独自に開発したLassoGraft Technology[®]を用いて、二重特異性抗体などの次世代多機能バイオ医薬品の創製を目指しています。本提携によりミラバイオロジクス社は、LassoGraft Technology[®]を用いて、当社が選定した複数の創薬標的を制御するバイオ医薬品の創製に取り組みます。当社は、創製されたバイオ医薬品の候補化合物を全世界で独占的に開発・商業化していきます。



ミラバイオロジクス社
(建物設計・監理:株式会社日総建)

米国展開の進展

■ 米国で「ベレキシブル」の第2相臨床試験を開始

2021年7月に、米国でブルトン型チロシンキナーゼ(BTK)阻害剤「ベレキシブル」の中枢神経系原発リンパ腫患者を対象とした第2相臨床試験を開始しました。ベレキシブルは、日本において2020年3月に「再発又は難治性の中枢神経系原発リンパ腫」の効能・効果で製造販売承認を受け、2020年5月に発売しています。その後、2020年8月に日本において「原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫」の効能・効果の追加承認を取得しています。

ベレキシブルは、当社が創製した選択性の高い経口BTK阻害剤であり、がん領域以外では、日本において天疱瘡(第2相試験)および全身性強皮症(第1相試験)を対象とした臨床試験も実施しています。今後も米国をはじめ世界の多くの患者さんにベレキシブルを提供できるよう取り組んでいきます。

■ 米国でONO-4685の第1相臨床試験を開始

2021年10月に、米国でONO-4685のT細胞リンパ腫を対象とした第1相臨床試験を開始しました。ONO-4685は、当社の創薬提携先であるMerus社の多価抗体技術を利用して創出したヒトのPD-1およびCD3に特異的に結合する抗PD-1/CD3二重特異性抗体で、日本および欧州で自己免疫疾患を対象とした第1相臨床試験も実施しています。

■ 米国での組織体制の強化

米国子会社であるONO PHARMA USA, INC.は、米国での自社製品発売に向けて臨床開発から承認取得までを実施できる体制の確立を目指しています。2021年9月には販売統括責任者を採用するなど、米国での自社販売を見据えた準備も進めています。

CSR活動

■ FTSE Russell社、MSCI社等が提供するESG投資指数の構成銘柄に継続選定

当社は、ESG(環境・社会・ガバナンス)投資指数の構成銘柄として、「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」(FTSE Russell社)に4年連続、「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」(東京証券取引所およびS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社)に4年連続、さらに「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」(MSCI社)に3年連続で選定されました。なお、「FTSE Blossom Japan Index」、「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」と「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」は、運用資産が世界最大規模の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が投資対象を選定するにあたり採用している指数です。



FTSE4Good

FTSE Blossom
Japan2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

免責事項：小野薬品工業株式会社のMSCIインデックスへの組み入れや、本件お知らせにおける本投資法人によるMSCI社のロゴ・商標・サービスマーク並びにインデックス名の使用は、MSCI社及びその関係会社による小野薬品工業株式会社へのスポンサーシップ、宣伝、販売促進を企図するものではありません。MSCI指数はMSCI社に独占権があり、MSCI社及びMSCI指数及びそのロゴは、MSCI社及びその関連会社の商標・サービスマークです。

■ カーボンニュートラル都市ガスの導入

2021年8月、中長期環境ビジョン(ECO VISION 2050)のもと、事業活動に伴って排出される温室効果ガスの削減に向けての取り組みの一つとして、当社筑波研究所にカーボンニュートラル都市ガス(CN都市ガス)^{*1}を導入するとともに、カーボンニュートラルLNG(CNL)バイヤーズアライアンス^{*2}に加盟しました。東京ガス株式会社が供給するCN都市ガスの導入は、製薬業界では初となります。今後は、他の事業所においても、CN都市ガスの導入を進めていきます。



^{*1} カーボンニュートラル都市ガス：天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、CO₂クレジットで相殺し、燃焼させても地球規模ではCO₂が発生しないとみなす液化天然ガス(カーボンニュートラルLNG)を原料とする都市ガス。

^{*2} カーボンニュートラルLNGバイヤーズアライアンス：持続可能な社会の実現に向け、CNLを調達・供給する東京ガスと購入する企業・法人が一丸となり、CNLの普及拡大とその利用価値向上の実現を目的として設立された団体。

人財育成

■ イノベーション人財育成プログラムを開始

当社は、企業価値を向上させ、持続的に成長するために「企業基盤の強化」の推進に取り組んでいます。「企業基盤の強化」における重要なテーマの一つが新たなイノベーション創出の源泉となる「人財」の育成であり、社員の挑戦を後押しするような企業風土づくりです。2021年5月には、従来の人財育成施策に加え、さらに多面的かつ集中的にイノベーションを起こせる場を提供するOno Innovation Platform（OIP）を開設しました。OIPでは「学習」、「経験」および「挑戦」の3つの場を提供しています。

学習の場

知る・触れる・体験する

2021年6月より、研修・ワークショップ“Innovation Cafe”を開設し、最新のビジネストレンドを学ぶセミナーや、デザイン思考に基づいた課題の解決手法のケーススタディなどを実施しています。

経験の場

ベンチャーを経験する

2021年5月より、ベンチャー出向プログラム“V2V”を開始しており、10月1日より5名の社員が出向しています。ベンチャー企業に1年間出向し、ベンチャー企業の一員として働くことで、社内ではできない経験を積み、イノベーション人財としての成長を促すことが狙いです。出向先で事業開発に貢献するとともに、帰任後は得られた経験を社内に還元することで、当社の組織力の強化につながります。

挑戦の場

社員の挑戦と会社の支援

2021年5月より、社内ビジネスコンテスト“HOPE”を開催しています。社員が学習・経験したことを実践に結びつける自主的な挑戦の場として位置づけ、イノベーションの創出と人財の育成を積極的に支援しています。このプログラムでは、社員自身が自らのアイデアを起点とし、当社の事業領域にとらわれることなく幅広い顧客課題に向き合い、新たな解決策を提案します。